

MIYATEEN



癒しのひととき



MENU

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 受付 (本の紹介) | 2-3 |
| Foods & Drinks
(オススメ本紹介) | 4-6 |
| お会計 (本の紹介) | 7 |
| 店員紹介 (編集員紹介) | 8 |

Please
come again

OPEN





「新章 神様のカルテ」

夏川草介／著 小学館

「患者第一」の信念と夏目漱石の言葉を胸に、内科医、栗原一止は忙しい毎日を送る。矛盾だらけの大学病院に慣れてきた頃、29歳の肺癌患者の治療方法を巡って、権力を握る准教授と対立。



感想 「だから」立ち止まるのか。「それでも」前へ進むのか。生きることを全うするためには、「それでも、大丈夫」と言える医師の勇気が必要だ。あなたは、「それでも」を貫けるでしょうか。まずはこの本から。



「みかづき」

森絵都／著 集英社

時代は昭和、主人公の吾郎は小学校の用務員。小学生に勉強を教えていると評判となり、押しの強い千明とともに学習塾を開くことに……。教育に人生を懸ける家族の物語。



感想 決して満足することのない教育の現場を、三日月になぞらえたセンス！いつの時代も、教育や学校現場の問題は消えませんが。そんな中、奮闘する千明、清々しいです。



「か」「く」「し」「ご」と」

住野よる／著 新潮社

5人のクラスメイトにはそれぞれみんなに隠している特別なちからがある。そんな5人が繰り広げる日常の物語。



感想 5人それぞれの目線から日常を綴る青春物語で、5人の持つ能力はだれもが憧れると思う。



「屋上のウインドノーツ」

額賀澤／著 文藝春秋

友達がひとりもない県立高校へ入学した引っ込み思案の少女・給前志音は、屋上で吹奏楽部の部長 日向寺大志と出会う。ワケありの部長に誘われ、「何かが変わるかもしれない」そんな予感を胸に吹奏楽部に入部する一。



感想 引っ込み思案な主人公が、吹奏楽部内に居場所を見つけ、部長たちと関わる中で自分を肯定的にとらえられるようになっていくところがよかったです。



「夜のピクニック」(新潮文庫)

恩田陸／著 新潮社

日が沈み、静謐が空気を満たす夜。普段とは、みんなが違って見える夜。夜通しで歩く「歩行祭」が高校生活を締め括る。みんなが思い出を振り返る中、貴子だけ、ある決意を抱いて臨んだ。



感想 最後の学校行事。親友たちのおしゃべり。休憩中に飲んだ水。野原に寝ころんで見た星空。暗がり。ほんのちょっとしたことが、特別に輝いて感じられる、とっておきの青春小説。

受付



MIYATEEN

CAFE



「犬房女子 犬猫殺処分施設で働くということ」

藤崎童士／著 大月書店

2013年、動物愛護法改正に伴い、熊本県動物愛護センターで働き始めた玲と和美。ガス室での殺処分が漫然と続く職場で、犬猫たちを救おう、せめて環境を改善しようと奮闘するも……。現場のリアルに迫るフィクション。



感想 目をそむけたくないような悲しい現実。けれど、これは決して私達に関係ないことではありません。できるだけ多くの人に読んでもらえたらと思います。



「本日は、お日柄もよく」

原田マハ／著 徳間書店

気楽にOLをしていた二ノ宮こと葉は、幼なじみの結婚披露宴で聴いたあるスピーチで感涙。そのスピーチの主は伝説のスピーチライター久遠久美だった。思わず弟子入りしたこと葉は「言葉」の修行を始めるが……。



感想 『CHANGE』は『CHANCE』だ。」GからCへの小さな変化は、大きな好機になる。こんな素敵な言葉が盛り沢山！言葉の持つ力を、再認識させてくれる本。言葉で変えられないことはない。



「魔法使いのハーブティー」(メディアワークス文庫)

有間カオル／著 KADOKAWA

親を亡くし、親戚中をたらいまわしにされる少女である勇希は、夏休みの間、横浜の会ったこともない伯父の家に行くことになる。カフェのオーナーであった伯父は、勇希が住む条件として約束させたことは「魔法の後継者として魔法の修行にはげむこと」で……。



感想 様々な人々との出会い、そして勇希が行動していくうちに勇希が魔女として成長していくのが良いし、後半の展開が想像以上にびっくりするので読みごたえがある。



「ばんぱいやのパフェ屋さん「マジックアワー」へようこそ」

佐々木禎子／著 ポプラ社

小学校時代から「ドミノ」といわれるほど貧血・虚弱体質に悩んでいた高萩音斗。それを心配した両親は、母方の親戚に連絡をとり、音斗が吸血鬼の末裔だと分かる。そして音斗はその親戚のもとで暮らすことになる……。



感想 タイトルにひかれて買ったのですが、想像以上に面白く、最高であった。少しずつ音斗君が成長し、強くなっていくのを見るとほっこりし、応援したくなる。



「93番目のキミ」

山田悠介／著 文芸社

也太の相棒のスマロボ、シロには心が宿っている。楽しく日常を過ごし、絆を深めていった2人だが、ある姉弟と出会ったことをきっかけにその生活は一変する。病院で起こった爆発事件。その事件に巻きこまれた少年のためにシロはある決断をする……。



感想 最初のほうは、ちょっとハラハラしつつもほっこりしますが、ラストのラストで感動の波が押し寄せてきます。ロボットらしからぬシロの言動に、本来人間のあるべき姿を見せつけられたような気がしました。

Foods & Drinks

「今からあなたを脅迫します」 藤石波矢／著 講談社

「今から君を脅迫する」。きっかけは一本の動画。『脅迫屋』と名乗るふざけた男は、「元カレを人質に取った、命が惜しくば身代金を払え」という。ちょっと待って、私、恋人なんていたことがないんですけど・・・!?誘拐事件から繋がる振り込め詐欺騒動に巻き込まれた私は、気付けばテロ事件の渦中へと巻き込まれ一。

感想 先の読めない展開にハラハラし、もっと続きを読みたくなるような作品です。セリフがとても軽妙で、中身もライトなので、クライムミステリーをあまり読んだことがなくても楽しめます。

「グッド・バイ」(新潮文庫) 太宰治／著 新潮社

被災・疎開の極限状況から敗戦という未曾有の経験の中で、我が身を燃焼させてつづき書きのこした後期作品16編。

感想 色男の主人公が数多くの愛人と縁を切るために奮闘する物語です。・・・が未完の物語で、かなりいいところで終わってしまいます。残念です。

「ソロモンの偽証」(第1部～第3部) 宮部みゆき／著 新潮社

柏木卓也という1人の男子中学生の死により、様々なことが交錯し、真意が分からなくなっていた。柏木のクラスメイトであり優等生の藤野涼子は真相を突きとめようと、仲間達と裁判をひらく。柏木は自殺か他殺か?

感想 読み手側は全て知った上で読んでるので、少しもどかしいところがあります。いろいろなことが複雑に絡み合っていておもしろいです!長いので読みこたえがあります!

「鑑識・米沢の事件簿2」 ハセベバクシンオー／著 宝島社

マンションの1室で発見された男女2名の死体。男のほうに警察官であったことから、現役の警察官によるスティーラー殺人が疑われ、警察は世間から猛烈な非難を浴びる。事件の真相は一体・・・?

感想 幅広い世代から人気のドラマ「相棒」のスピノフ小説 第2弾である今作は、ドラマ特有のコミカルな表現も文章で再現されていて、読書をあまりしない方でも読みやすく、とても面白いです。

「人間失格」(集英社文庫) 太宰治／著 集英社

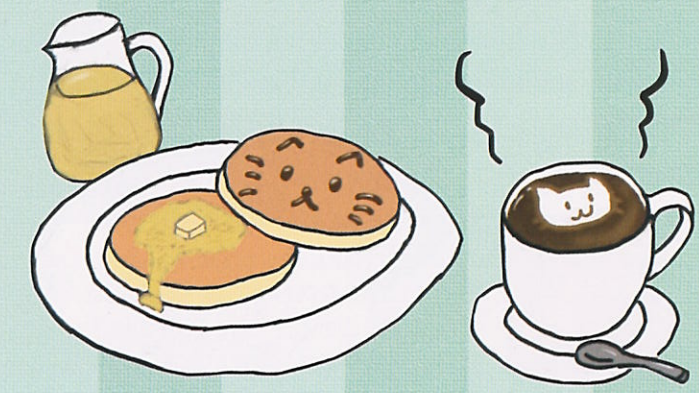
人の気持ちが分からないことによる孤独、人と関わることに恐怖。その中で主人公・葉蔵は、自分の感情を隠すために「道化」を演じるようになっていく・・・。

感想 太宰治の名作であり、自伝であり、遺作でもある「人間失格」は作品全体を通して重い雰囲気でありながら、どこか共感できる場所があると思います。作家・太宰は自殺するほど人間失格だったのかと私はいつも思います。

「マスカレード・ホテル」 東野圭吾／著 集英社

都内で起こる数々の殺人事件。そこには毎回謎の暗号が残されていた。そしてその暗号を解いた結果、4番目の現場は尚美の働くホテル・コルテシア東京になるらしい。しかし、犯人への手がかりはなく、ひたすら警察がホテルマンに化け、張り込みをする。果たして犯人を捕まえることができるのか・・・?

感想 伏線がたくさん張られていて、最後の最後まで犯人が誰だか分かりませんでした。ホテルの仕事の裏側も少しのぞけて、またそこもおもしろいです。東野圭吾さんの作品はどれも興味深いのですが、特にオススメの1冊です!



「リアルフェイス」 知念実希人／著 実業之日本社

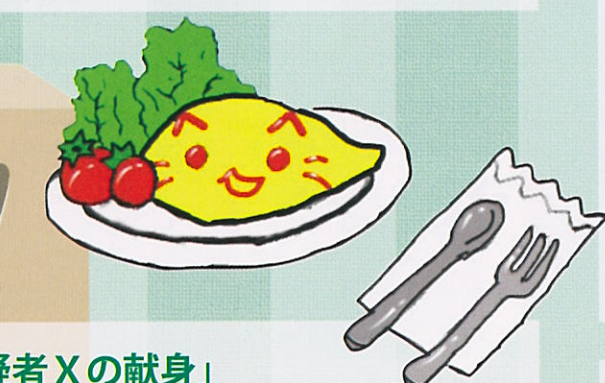
金さえ積めばどんな要望にも応える天才美容外科医・柊貴之。そんな彼のもとには奇妙な依頼が次々と舞い込む。さらに、整形美女連続殺人事件という謎の事件が起こり・・・。

感想 医療系の本ですが難しい言葉などはあまり出てこなく、さっくり読めると思います。ラストですべてがわかりとてもすっきりしました。

「ユートピア」(集英社文庫) 湊かなえ／著 集英社

太平洋を望む美しい景観の港町・鼻崎町。事故が原因で車椅子生活を送る小学生・久美香と、彼女を広告塔に支援団体を立ち上げる大人たち。出だしは上々だったが、ある噂がネットで流れ、徐々に歯車が狂い始め・・・。善意が人間関係を歪める緊迫の心理ミステリー。

感想 湊かなえさんらしく、かなりドロドロした物語です。「クララの翼」という足の不自由な子どもたちを助ける団体を設立した主人公たちの身に、様々な災難が降りかかります。SNSの怖さも表現されています。



「容疑者Xの献身」 東野圭吾／著 文藝春秋

天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘と暮らす隣人の靖子に秘かな想いを寄せていた。彼女たちが前夫を殺害したことを知った彼は、2人を救うため完全犯罪を企てる。だが皮肉にも、石神のかつての親友である物理学者の湯川学が、その謎に挑むことになる。

感想 訪ねてきた元夫を殺害してしまった母娘の罪を自ら被ると決断した隣人の天才数学教師。その頭脳は警察を欺くことができるのか。

「チュベローズで待ってる AGE22」 加藤シゲアキ／著 扶桑社

就活に失敗した主人公の光太は雫という男にホストにならないかと誘われます。複雑な人間関係のうねりに翻弄される光太を、思いがけない悲劇がおそいます。

感想 めまぐるしく変化していく物事にハラハラドキドキしました。ラストではタイトルの意味や、もやもやしていたことがとけるのですが、最後の文は誰か分からず、想像するのが楽しいです。

「ドアD」 山田悠介／著 幻冬舎

目が覚めたら仲間と共に見知らぬ部屋に閉じ込められてしまった!次の部屋へと脱出する度に犠牲になっていく仲間達。主人公は最後まで生き延びるが・・・?

感想 山田悠介さんらしい、とてもスリルのある作品です。描写が結構リアル(笑)読み始めたら止まらない!最後の終わりがとても好きです。

「ルパンの娘」(講談社文庫) 横関大／著 講談社

泥棒一家に生まれた娘の華は、警察一家の長男の和馬と素性を隠して交際していた。ある日、華の祖父・巖が遺体となった状態で見つかり、そこから物語は始まっていく・・・

感想 ドラマ化で注目されていたので買ってみたらとても面白く、読みこたえがあった。華と和馬のそれぞれの立場に悩む姿を読んでドキドキした。また泥棒一家の個性も強くて面白いです!!

「京都府警あやかし課の事件簿」(PHP文芸文庫)

天花寺さやか／著 PHP研究所



京都府警が擁する「人外特別警戒隊」の「あやかし課」。化け物から神仏まで、あやかしが絡むあらゆる事件を人知れず解決するのが任務である。そこに入隊したばかりの大。彼女にはある秘密があつて……。彼女らの活躍を描いたファンタジー。

感想 神様やあやかしが沢山出てくるのが面白い。また主人公の大と一緒に行動する先輩の塔太郎の会話にも注目!!一話一話読みごたえがあるのもいい!

「ボンボンと悪夢」(新潮文庫)

星新一／著 新潮社



日常の中に突如現れる宇宙人やふしぎな道具、未来の世界など、不思議な物語の短編集。

感想 短編集なので誰でも読みやすい。最後に待っている予測できない結末がとてもおもしろい。

「小説 星を追う子ども」(角川文庫) 新海誠／作 あきさかあさひ／著 KADOKAWA



幼くして父を亡くした少女明日菜は、ある日見たこともない怪獣に襲われた所を「アガルタ」から来たという少年シュンに助けられる。翌日、心を通わせた2人はまた会う約束をするが彼は遺体で発見される。その後シュンと瓜二つのシンが現れ、地下世界「アガルタ」への冒険が幕を開ける。

感想 冒頭は内容をつかむのは少々難しかったです。しかし読むと止まらずどんどん引きこまれていきました。命とは何か。なぜ人は生きるのか。というのを改めて考えさせられました。

「男子高校生で売れっ子ライトノベル作家をしているけれど、年下のクラスメイトで声優の女の子に首を絞められている。1 - Time to Play - (上)」(電撃文庫)

時雨沢恵一／著 KADOKAWA



彼女の手は、とてもとても、冷たい。それは、まるで、鎖のマフラーでも巻かれたかのような。彼女が泣きながら叫んだ。「どうしてっ!？」

感想 この本の1番面白いところは、何と云っても、主人公の名前が出てこないことです。題名も驚きますが、これにも驚きます。そして、この本の中身を読んでも驚くでしょう。何と云っても……。

「あやかし友人日記 巡る四季のため奇譚」(メディアワークス文庫)

岡田遥／著 KADOKAWA



かつて四国全ての狸を統べながら、今は久万山に封じられた隠神千狸。ある日千狸は、あやかしが見える体質で孤独な少女三春と出会う。そしていつしか隣に誰かがいるのが当たり前になっていき……。

感想 千狸の気持ち三春の成長と共に変化していく様子が楽しかったり、ほのぼのしたり。孤独で不器用な人が交流し、絆を深める姿が微笑ましい!

「本好きの下剋上 —司書になるためには手段を選んでいられません—(第1部)兵士の娘(1)」

香月美夜／著 TOブックス

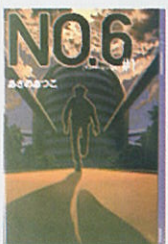


幼い頃から本が大好きな女子大生が事故に巻き込まれ、見知らぬ世界で生まれ変わった。貧しい兵士の娘であり、病気がちな5歳の女の子マインとして……。その世界では人々の識字率も低く、書物はほとんど存在しない。読むためにも高価で手に入らない。マインは決意する。「本がないなら、作ってしまえばいいじゃない!」

感想 マインが「本を読む」それだけのために、全力で突き進んでいく様子が面白い!本が読みたい。けど本がない。だから本を作る!最初は失敗ばかりでも本作りは進み、少しずつマインも成長し、周囲の状況も変化していきます。

「No.6 #1」

あさのあつこ／著 講談社



近未来の地球は、戦争などを経て、6つの大都市に区分されていた。その1つのNo.6では、将来のエリートとして、大切に育てられていた紫苑がいた。嵐の夜にネズミと出会い、親友・沙布を救いながら世界を変えてゆく。

感想 章が変わったりするときに古代の物語の一節が抜き出されており、個人的にはムード(?)が増えて好きです。完璧な将来を約束されながらも、それを捨て、親友を救う紫苑は尊敬できます。

お会計

Yes →
No →



START



Q 実写化モノは好き?

Q 活字は好き?

Q 青春ものは好き?

「りんごかもしれない」

ヨシタケシンスケ／著
ブロンズ新社



テーブルの上に置いてあるりんご。もしかしたら、これはりんごじゃないのかも……。もしかしたら大きなさくらんぼの一部かも、あるいは中にはメカがぎゅっ詰まっているのかも……。

感想 ひとつのりんごから、こんなにもいろいろなことを考えられるってすごいと思います。想像力は無限大!

「異世界薬局 1」

高山理図／著
keepout／装画
KADOKAWA



薬学研究に勤しむ日本人の主人公は志半ばで過労死してしまつた。気がつくや異世界に生まれ変わり、宮廷薬師の名家の次男ファルマとなつていた。ファルマは医学が未発達な世界で、転生前の知識と転生後に手に入れた能力で多くの人々を救おうと奮闘する。

感想 もちろん、物語自体もおもしろく、読みやすいですが、著者が現役の研究者であることに注目してほしいです。正確な描写が、よりこの物語をおもしろくさせています。

「告白」

湊かなえ／著
双葉社



中学生の先生をして働いていた森口悠子は娘・愛美を事故で亡くしたが、本当は殺人だったことを知る。真実を知った悠子は犯人である少年たちに復讐を誓い、学校を去っていく。

感想 人の歪んだ感情を凝縮した作品だと思います。重苦しい雰囲気ですが、読みにくいことはなく、どんどん引き込まれました。

「一瞬の風になれ 第1部」(講談社文庫)

佐藤多佳子／著 講談社



春野台高校陸上部1年・神谷新二。スポーツテストで感じたあの疾走感……。ただ、走りたい!! 青春陸上小説、スタート!

感想 高校の陸上部が舞台の爽やか青春物。自分の才能に対するあきらめや、才能があるのに練習嫌いなチームメイトに対する嫉妬や反発に共感できる場面が多くありました。

ゆーたん

【編集長】

文星芸術大学付属高等学校

初参加で編集長を務め
させていただきました。



湯豆腐

【副編集長】

作新学院高等学校

職務を全うできるよう
頑張ります。



アオキタセイ

【書記】

宇都宮東高等学校

2年連続での参加です。
楽しかったです。



Heine

【書記】

宇都宮商業高等学校

あらすじの要約が
難しかったです。



店員紹介

【編集委員紹介】

ひまわり

【書記】

宇都宮東高等学校

初めての参加でしたが
楽しかったです。



ナナセ

【イラスト】

宇都宮中央女子高等学校

初めて参加しました。
イラストを書くのは
難しかったです。



マロン

【イラスト】

作新学院高等学校

貴重な体験ができた。
した。



恵麻

【イラスト】

宇都宮短期大学附属高等学校

初めての参加でしたがと
ても楽しく、良い仲間と出
会えてよかったです。



肘

【イラスト】

宇都宮東高等学校

あらすじをまとめるのが
難しかったです。



編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.12でも高校生編集委員を
募集します。本好きの高校生の皆
さん、ぜひご参加ください！詳しく
は中央図書館まで。

のん

【イラスト】

作新学院高等学校

イラストが難しかったですが
楽しかったです。もっと色々
な本が読みたくなりました。



あんのうん

【ページリーダー】

宇都宮東高等学校

あらすじを書くのに
苦労しました。



わらび餅

【ページリーダー】

宇都宮東高等学校

自分の好きな本の面白さ
を人に伝えるのが難し
かったです。



青夏

【ページリーダー】

宇都宮文星女子高等学校

編集委員2回目です。
精一杯がんばりたいで
す。



・ペンネーム・役割[担当]・学校・感想

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生の
ための読書情報誌

MIYATEEN Vol.11



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

発行 令和2年1月 編集 MIYATEEN編集委員
ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231